

しろとり弁当販売開始 コロナ禍で学生支援 新型コロナウイルス感染症拡大予防として食事の分散化も

学校法人名古屋学院大学(名古屋市熱田区熱田西町、学長：赤楚治之)は、4月18日から名古屋キャンパスしろとりの学生食堂で、弁当メニューを新たに取り入れ本学学生に提供します。

弁当は1日3種類50食を用意、対面授業の期間に販売します。価格の一部を大学が負担し、新型コロナウイルス感染症や物価上昇の影響による学生生活への負担を少しでも軽減する狙いです。

【弁当メニュー例／販売価格】

のり弁 300円、ロコモコ丼 370円、彩り弁当 370円、豚の生姜焼き弁当 370円など。
この中から1日に3種類(全部で50食)を販売。



のり弁
300円



ロコモコ丼
370円



彩り弁当
370円

【目的】

- ◇学生食堂を通じて、学生が栄養バランスのとれた食事を取りやすい環境を作ること
- ◇原材料費の高騰による生活必需品等の値上げに伴う学生生活の負担を軽減すること
- ◇新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、食事の場所や時間の分散化を進めることなどを目的に販売します。

【販売場所・期間】

- ◇販売場所：名古屋キャンパスしろとり曙館1階 学生食堂前
(名古屋市熱田区熱田西町1番25号)
- ◇販売期間：対面授業実施期間(授業月は年間のうち約8ヶ月間)

【名古屋学院大学学生食堂について】

- ◇名古屋キャンパス：3つの学舎であわせて5か所(食堂、レストラン、カフェ)ある他、コンビニ、売店
- ◇瀬戸キャンパス：学生食堂と売店
- ※瀬戸キャンパスでは、学生応援キャンペーンとして4月11日より、従来の日替わりランチの価格を一部大学で負担し提供しています。日替わりランチは2種類あり、このうち1種類は主菜を魚として、栄養バランスを考えたメニューです。